

就職活動におけるスケジュール管理ソフトの提案

035269 山口 賢治

(指導教員 速水 治夫 教授)

1. はじめに

就職. それは大学を卒業した多くの学生が通る道である. 就職という道を選ぶ学生は就職活動をし, 自らの就職口を決めなければならない. 就職活動がピークにさしかかると, 企業が開催する面接・説明会等の予定が同じ日に重なってしまうことがある. 著者は Excel・Outlook を用いてスケジュール管理をしてきた. しかし, Excel は企業の選考状況を把握するのにキーボードで逐一入力しなくてはならず, 手間がかかる. 又, Outlook はボタンや設定・機能が多過ぎて初心者には扱いにくいソフトウェアになっている.

2. 目的

就職活動状況を楽に把握でき, 初心者にも扱いやすいようなソフトウェアを開発することが必要だと感じた. それにより「スケジュール管理の労力」が減らせるのではないかと考えたのが本研究の出発点である.

3. システム構成

本システムは Microsoft 社の Visual C++ 6.0 を用いて開発した. 図1が本システムのメイン画面である. 時間軸と企業軸で予定を表現する事により容易に予定を把握できる. 画面上部には「企業データ作成」「全企業の閲覧」「登録情報の変更・削除」という必要最低限のボタンが配置されている.



図1. メイン画面

本システムは「気になる企業」「選考を受けようと思っている企業」を見つける事が出発点になっている. 図2は基本的な実行の流れである. 図2を繰り返す事により登録企業数が増えていく仕組みになっている.

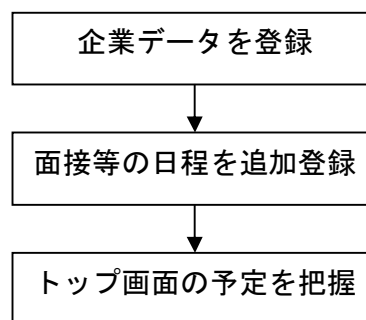


図2. システムの実行の流れ

4. 評価

本学の学生4人に「本システム」「Outlook」を使用してもらった. 就職活動の有無により評価結果の重みが変わってくると考えたので, 「就職活動中の3年生2人」「就職活動を終えた4年生2人」の2つのグループに分けて評価を行った. その結果, 表1に示すように「Outlook」と比べ, 操作し易く選考状況を把握し易い事が確認できた.

表1. アンケートによる評価結果(平均値)

	山口システム	Outlook
操作性	4.25	3.00
機能性	3.50	4.25
選考状況の把握し易さ	3.75	2.50

5. おわりに

評価結果の「操作性」「選考状況の把握し易さ」の点数から「スケジュール管理の労力」が軽減されたと考えられる.

又, 今後の課題として予定開始時刻・場所等の詳細なデータを記録する事が挙げられる. 更に, 間近の予定を知らせる機能があれば「機能性」が上がると思える.